



京西公民館だより



高学年から発表です



映画のあとで、すいかを食べました

今年の夏は本当にきびしい暑さでしたが、見上げると月が美しく、秋の気配がしてきました。7・8月は子どもたちの夏休みにあわせて、公民館で子ども対象の事業を開催しました。ふだん公民館は大人の女性が利用者の大半ですが、子どもたちの元気な声がひびきました。

「夏休み子どもまなび隊」開催しました

「はじめてのおしごと体験」と題したワークショップを中心に、まぜごはんづくりと映画会というプログラムで、小学生17人が夏の一日を公民館ですごしました。

ちがう学校、学年もさまざまなお友達といっしょに体験学習をすることで、はじめは緊張していましたが、しだいに打ちとけていきました。短時間でこんなふうにするこせるようになるのが、子どもにとって本当にすごいと思います。すこし世界が広がったのではないのでしょうか。

「パパとキッチン」開催しました



おいしいピザができますように

さて、こちらはお父さんと子どもの料理教室。毎年夏休みに開催していますが、お父さんのエプロン姿、なかなかさまになっていました。夏野菜ピザとスープとゼリーで満腹です！お父さんとの距離がぐんと近くなるひとときとなりました。お家でもぜひ一緒にクッキングしてほしいですね。

参加者アンケートより

- ・ たくさんの子と交流できて楽しかった。
- ・ がんばったので、いいピザができた。
- ・ 子どもが包丁を持ち、料理を作ることへの興味を覚えたことがうれしい。

(夏休み子どもまなび隊)
(パパとキッチン)

地域のニュース

★前号で紹介した赤膚山元窯・古瀬堯三では、登録有形文化財の大型登り窯を解体・修理することになりました。12月中旬までの期間中、現場を見学できるとのことです。

曜日・時間等、くわしくはお問合せください。
【電話：45・4517】

★六条西3丁目に写真ギャラリーができました。地元出身の写真家・富士原美千代さんの作品を無料で展示しています。11月30日まで入れ替えあり。月曜休館、10時～17時

【電話：44・7233】

「誰でも簡単♪スクラップブック」講習会の参加者を募集します！

【10月30日(金)午前10時～】

写真をすてきにデコレーションして、お部屋に飾りませんか

対象定員：奈良市在住・在勤の成人15人

費用：1000円(材料費)

講師：呉竹DUO認定マスター講師

しめきり：10月20日

※この講座では託児(無料)を行いません。

6ヶ月～就学前、定員あり、事前申込要

しみんだより10月号に掲載します



発行 (公財)奈良市生涯学習財団 京西公民館
奈良市六条西一丁目三十四三三二 電話・FAX 0742-44-2669



高齢者の方に戦争体験をききました



この夏は戦後70年の節目でした。公民館主催の高齢者学級で、戦争体験について教えてほしいとよびかけたところ、3人の方が子どもの頃の記憶を述べてくださいました。

「国民学校一年生の時」

私は国民学校一年生の時に終戦となり、学校の運動場の一部は野菜畑で、先生に連れられ近くの山の防空壕に逃げ込んだ事が記憶に残っている。終戦の8月15日にラジオから流れる天皇陛下のときれとぎれの玉音放送があり、日本が戦争に負けたと家族や隣人とみんなで泣いた。

当時、クレヨンと画用紙が配られたが、クレヨンはローソクのように色がつかず、紙にわらわら入って穴が開いたこともあった。わら草履で通学していたので雨の日は草履が切れてはだしのこともあった。

山村の砂利道で米国兵が車の中から英語で話しかけてきて怖くなり、みんなで桑畑へ逃げて通りすぎるのを待ったこともある。

サトウハチローの「リンゴの歌」を合唱しながら家に帰ったのを覚えている。

谷口 勇

「懐かしい戦争と係わる思い出」

私は昭和15年名古屋市中区で生まれました。戦争で住むことが難しくなり、春日井に疎開することになりました。火の粉を防ぐため毛布を被せられて、途中で毛布から外を覗くと真っ赤に燃える名古屋市街が見えました。

長屋住まいの下駄箱には、父のゲートルや鉄力ブトが入っていて、父も内地の戦争に行く用意を

していたと思われました。当時春日井には工廠があり、米軍のトラックやジープが走っていました。子ども時代に磁石にひもをつけて、友達と道に落ちていた鉄を集めて売って、小遣い稼ぎをしました。学校の先生方も戦争に行かれた際、飢えをしのぐためトカゲを食べたお話をしてくださいました。私もいものつるを食べ、おかずが少なく麦飯の上に醤油をたらしておかず替わりにしたことがあります。

戦後70年、日本は優秀なご先祖様の懸命な努力により、先進国の仲間入りを果たすことができました。食へ物は豊富で豊かな文明生活。今後とも平和国家として歩めるなら幸せでございます。

国田紀夫

「傷痍軍人という言葉を知っていますか」

私は戦後生まれ。戦争を直接体験していませんが、長崎生まれですので、傷痍(しょうい)軍人やケロイド状の火傷痕の人をたくさん見ました。

傷痍軍人は、手や足が無い人で、白衣を着て路上にすわり物乞いをしていました。働く場所もなく生活に困っていたのでしよう。

ケロイドの人は珍しくもない、原爆の傷痕です。住居が爆心地からさほど遠くなかったので日常生活で当たり前のこととして接してきました。

戦争は人災です。長崎港に入るアメリカの軍艦、ケロイドの人が引く人力車にアメリカ人がゆられて遊樂地へ。天と地ほどの生きる人の差を味わいました。

幼心に、戦争は二度とあってはならないと思いました。今も当時を忘れることはありません。

岡野俊彦

※内容は企画中のため、変更する場合があります。

作品展 ・アートフラワー ・草木染 ・七宝焼 ・水彩画 ・絵手紙 ・フラワーアレンジメント ・デッサン	11月 27日 (金) 午後		
	28日 (土) 終日	グループ体験 ・詩吟 ・自彊術体操 ・民謡、民舞 ・太極拳	親子ソフトテニス体験 【小学生と保護者】 11:00~14:00 お茶席【煎茶】 いす席 お菓子付き (有料) 13:00~15:00
	29日 (日) 終日	“風船教室” 11:00~11:30 小さいお子様は保護者同伴で 子ども映画 12:30~ どちらも申込不要	

「生涯学習DAY」開催します!

京西公民館では、年1回の公民館まつりを開催します。今回は作品展・体験・イベントと盛りだくさんです。ぜひご来場ください。

